

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年9月30日

上場会社名 前田金属工業株式会社 上場取引所 大証二部
 コード番号 5967 URL <http://www.tonetool.co.jp/>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)佐藤 憲史
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)井上 昌良 TEL (06)6976—5561
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月9日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年5月期第1四半期 | 567 | △45.0 | △32 | — | △16 | — | △322 | — |
| 21年5月期第1四半期 | 1,030 | — | 153 | — | 221 | — | 50 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|-------------|-----------------|----|----------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 22年5月期第1四半期 | △32 | 95 | — | — |
| 21年5月期第1四半期 | 5 | 12 | — | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|--|-------|--|--------|--|----------|----|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | | 円 | 銭 |
| 22年5月期第1四半期 | 4,597 | | 1,425 | | 31.0 | | 145 | 64 |
| 21年5月期 | 4,963 | | 1,463 | | 29.5 | | 149 | 53 |

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 1,425百万円 21年5月期 1,463百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | | |
|------------|----------|--------|--------|----|----|----|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 21年5月期 | — | — | 4 | 00 | 5 | 00 |
| 22年5月期 | — | — | — | — | — | — |
| 22年5月期(予想) | — | — | 4 | 00 | 5 | 00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 1,500 | △33.7 | 60 | △82.2 | 70 | △40.4 | △230 | — | △23 | 50 |
| 通期 | 3,600 | △8.1 | 300 | △31.9 | 310 | 15.4 | 90 | — | 9 | 20 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 有
(注) 詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------|-------------|
| 22年5月期第1四半期 | 11,713,000株 | 21年5月期 | 11,713,000株 |
|-------------|-------------|--------|-------------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|------------|--------|------------|
| 22年5月期第1四半期 | 1,925,351株 | 21年5月期 | 1,924,802株 |
|-------------|------------|--------|------------|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 22年5月期第1四半期 | 9,787,924株 | 21年5月期第1四半期 | 9,797,449株 |
|-------------|------------|-------------|------------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年7月13日に公表いたしました業績数値を上記のとおり修正しております。
- 業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年秋に表面化した米国発世界的な金融危機から大幅な実体経済低下の影響が依然として残り、企業収益の悪化に連動し、雇用への先行き不安や個人消費の落ち込みなど経済全体として厳しい状況が続く中、国内民間需要も減退しました。

このような経済状況のもと、当社グループは、各取引先への積極的な提案営業活動を展開し、売上確保に努めるとともに、大幅な受注の減少に対応した生産体制の構築、人件費・諸経費削減等の経営合理化にも取り組み、企業収益の改善を図ってまいりました。

しかしながら、国内外市場における作業工具類及び機器類の販売も大幅な需要減退などからともに急激に落ち込んだことにより、当第1四半期連結会計期間における売上高は作業工具類が3億4千5百万円、機器類が2億2千1百万円の計5億6千7百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

損益面につきましては、あらゆる諸経費削減等に鋭意努力いたしましたが、売上高激減の煽りを受け、3千2百万円の営業損失（前年同期は1億5千3百万円の営業利益）、1千6百万円の経常損失（前年同期は2億2千1百万円の経常利益）となり、さらに、特別損失に投資有価証券評価損2億6千万円を計上したことにより、3億2千2百万円の四半期純損失（前年同期は5千万円の四半期純利益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、45億9千7百万円となり前連結会計年度末に比べ3億6千5百万円減少しました。この主な要因は、流動資産においては現金及び預金の減少1億1千8百万円、受取手形及び売掛金の減少2億1千3百万円、繰延税金資産の減少4千4百万円等によるものであり、固定資産においては、リース資産の増加3千6百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は、31億7千2百万円となり前連結会計年度末に比べ3億2千7百万円減少しました。この主な要因は、流動負債においては支払手形及び買掛金の減少1億1千2百万円、短期借入金の減少9千2百万円、未払金の減少8千3百万円等によるものであり、固定負債においては長期借入金の減少5千6百万円、リース債務の増加3千万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、14億2千5百万円となり前連結会計年度末に比べ3千8百万円減少しました。この主な要因は、四半期純損失の計上及び配当金の支払による利益剰余金の減少3億7千1百万円、その他有価証券評価差額金の増加3億3千3百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千8百万円の減少となりました。当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況のそれぞれの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、仕入債務の減少1億1千2百万円、賞与引当金の減少1千9百万円等による資金の減少がありましたが、売上債権の減少2億1千3百万円、減価償却費1千9百万円等により、資金はプラス5千5百万円（前年同期はマイナス1億3千2百万円）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、投資有価証券の取得に8千万円、有形・無形固定資産の取得に6百万円等を支出しましたが、投資有価証券の売却により1億3百万円等の収入を得たことにより資金はプラス2千7百万円（前年同期はマイナス7千9百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、短期借入金の純減5千万円、長期借入金の返済に9千9百万円、配当金の支払に4千8百万円等を支出したことにより資金はマイナス2億1百万円（前年同期はプラス7千2百万円）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案し、前回予想（平成21年7月13日）より平成22年5月期の第2四半期連結累計期間及び通期の予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部の棚卸資産を除いて実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

法人税等の計算の変更

従来、税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より年度決算と同様の方法により計算する方法に変更しております。

当該変更は、世界的な不況による経営環境の著しい変化などにより、業績の不透明感が増してきたことから年度の見積実効税率を合理的に算定することが出来ず、当四半期連結会計期間の税金費用を適切に計算できなくなるものと判断し、年度決算と同様の方法を採用することにより四半期連結会計期間に係る財政状態及び経営成績をより適切に表示することを目的として行ったものであります。

なお、当該変更による影響額は、見積実効税率を合理的に見積ることができないため記載しておりません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 192,367 | 311,267 |
| 受取手形及び売掛金 | 742,402 | 955,974 |
| 商品及び製品 | 963,359 | 933,559 |
| 仕掛品 | 289,378 | 290,450 |
| 原材料及び貯蔵品 | 258,264 | 297,105 |
| その他 | 28,050 | 66,197 |
| 貸倒引当金 | △1,180 | △4,110 |
| 流動資産合計 | 2,472,642 | 2,850,446 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 134,275 | 137,443 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 117,197 | 124,685 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 46,530 | 44,285 |
| 土地 | 308,186 | 308,186 |
| リース資産（純額） | 13,241 | 587 |
| 建設仮勘定 | 468 | — |
| 有形固定資産合計 | 619,899 | 615,189 |
| 無形固定資産 | 42,038 | 18,777 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,417,066 | 1,433,480 |
| その他 | 50,766 | 47,002 |
| 貸倒引当金 | △4,678 | △1,501 |
| 投資その他の資産合計 | 1,463,154 | 1,478,981 |
| 固定資産合計 | 2,125,092 | 2,112,948 |
| 資産合計 | 4,597,734 | 4,963,394 |

(単位：千円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 242,080 | 354,441 |
| 短期借入金 | 2,032,949 | 2,125,767 |
| 未払法人税等 | 15 | 67 |
| 賞与引当金 | 23,940 | 43,535 |
| 未払金 | 57,088 | 140,588 |
| 未払費用 | 27,312 | 36,357 |
| その他 | 36,989 | 26,191 |
| 流動負債合計 | 2,420,375 | 2,726,949 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 260,707 | 317,542 |
| 長期末払金 | 90,940 | 90,940 |
| 退職給付引当金 | 307,136 | 311,661 |
| その他 | 93,070 | 52,630 |
| 固定負債合計 | 751,854 | 772,774 |
| 負債合計 | 3,172,230 | 3,499,724 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 605,000 | 605,000 |
| 資本剰余金 | 163,380 | 163,380 |
| 利益剰余金 | 1,174,805 | 1,546,210 |
| 自己株式 | △507,529 | △507,400 |
| 株主資本合計 | 1,435,656 | 1,807,191 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △10,152 | △343,521 |
| 評価・換算差額等合計 | △10,152 | △343,521 |
| 純資産合計 | 1,425,504 | 1,463,670 |
| 負債純資産合計 | 4,597,734 | 4,963,394 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,030,618 | 567,015 |
| 売上原価 | 595,566 | 340,201 |
| 売上総利益 | 435,051 | 226,814 |
| 販売費及び一般管理費 | 281,360 | 259,733 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 153,691 | △32,919 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,501 | 1,212 |
| 受取配当金 | 17,845 | 15,009 |
| 投資有価証券売却益 | 24,544 | — |
| 有価証券運用益 | 27,627 | 10,923 |
| その他 | 2,724 | 8,097 |
| 営業外収益合計 | 74,244 | 35,242 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,797 | 4,930 |
| 投資有価証券売却損 | — | 13,071 |
| その他 | 1,535 | 408 |
| 営業外費用合計 | 6,333 | 18,410 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 221,603 | △16,087 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 128,778 | 260,782 |
| 特別損失合計 | 128,778 | 260,782 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 92,824 | △276,869 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 42,696 | 781 |
| 法人税等調整額 | — | 44,813 |
| 法人税等合計 | 42,696 | 45,595 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 50,127 | △322,464 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 92,824 | △276,869 |
| 減価償却費 | 18,917 | 19,754 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △1,297 | 246 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △28,886 | △4,524 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △37,719 | △19,595 |
| 受取利息及び受取配当金 | △19,347 | △16,222 |
| 支払利息 | 4,797 | 4,930 |
| 有価証券売却損益(△は益) | △52,172 | 2,148 |
| 有形及び無形固定資産除売却損益(△は益) | — | 21 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 128,778 | 260,782 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 205,232 | 213,572 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △161,234 | 10,113 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △8,936 | △112,360 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △12,939 | △4,278 |
| その他 | △12,553 | △30,797 |
| 小計 | 115,463 | 46,920 |
| 利息及び配当金の受取額 | 18,741 | 15,622 |
| 利息の支払額 | △4,840 | △4,677 |
| 法人税等の支払額 | △262,357 | △2,694 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △132,991 | 55,171 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △8,092 | △6,108 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △156,173 | △80,569 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 61,782 | 103,839 |
| 差金決済による収支(純額) | 24,615 | 10,487 |
| その他 | △1,638 | △587 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △79,507 | 27,061 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 200,000 | △50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 50,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △86,044 | △99,653 |
| 配当金の支払額 | △91,203 | △48,963 |
| リース債務の返済による支出 | — | △2,387 |
| 自己株式の純増減額(△は増加) | △215 | △129 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 72,537 | △201,132 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △139,962 | △118,900 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 353,089 | 311,267 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 213,127 | 192,367 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

当連結グループは、作業工具・機器の製造・販売のみを行っている単一セグメントに該当いたしますので、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

当連結グループは、作業工具・機器の製造・販売のみを行っている単一セグメントに該当いたしますので、記載を省略しております。

② 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成21年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)

| | 東アジア | 欧州 | 北中米 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|--------|-------|---------|--------|-----------|
| I 海外売上高(千円) | 75,539 | 7,789 | 124,703 | 43,143 | 251,174 |
| II 連結売上高(千円) | | | | | 1,030,618 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 7.3 | 0.8 | 12.1 | 4.2 | 24.4 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア…韓国・中国・台湾

(2) 欧州……イギリス・フランス

(3) 北中米……アメリカ・カナダ

(4) その他……タイ・シンガポール・チリ・インドネシア・マレーシア・中近東

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)

| | 東アジア | 欧州 | 北中米 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| I 海外売上高(千円) | 53,511 | 16,933 | 39,058 | 17,323 | 126,825 |
| II 連結売上高(千円) | | | | | 567,015 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%) | 9.4 | 3.0 | 6.9 | 3.1 | 22.4 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理の近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東アジア…韓国・中国・台湾

(2) 欧州……イギリス・フランス

(3) 北中米……アメリカ・カナダ

(4) その他……タイ・シンガポール・ベトナム・インドネシア・インド・マレーシア・フィリピン・中近東

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。